



大切にしたいこと PART2



理事 堀内 由紀

前回、「路」に寄稿してから早いもので2年半が経ちました。前회가コロナ第6波の前だったことを思うと、遠い昔のような気がします。この2年半の間に、子ども政策はどんどん進み、国の「こども誰でも通園制度（仮称）」や東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」等を行うモデル園も増えてきました。70年ぶりに保育士の配置基準も変更となりました。もちろん保育現場としては、既に加配済みの施設も多いでしょうし、『何にも変わらないわ』との声も聞こえてきます。しかし経過措置とはいえ、わずかながら世の中に保育園の現状と、良い保育をするために必要な事が伝わった事はとても大きな進歩だと思います。あきらめず伝え続けてきた先輩方へ感謝です。また、私事ではありますが、この4月に副園長から園長になりました。責任の重さに押しつぶされそうになったり、上手くいなくて落ち込んだりの日々です。

先日、職員会議で、クラスの子どもたち全員の良いところを1人ずつ話し合おうというワークをする事になりました。もちろん日頃から自分のクラスの子どもたち一人ひとりを良く見て保育している訳で、何を改まってという感じでスタートしましたが、『気になるところやネガティブなことは話さない』『元気、明るい等のありきたりのワードは使わない』のルールで始めてみると、少しぎこちないスタートとなりましたが、1分もしない内に笑顔と笑い声に溢れ、時間を忘れてクラス担任達で盛り上がっていました。どの先生も笑顔で前のめりに子ども達のことを話す姿はとても素敵で、HAPPYオーラに包まれていました。見ていた私もとても幸せな気持ちになりましたし、振り返りをした主任も、保育士になった頃の『子どもが好き』という初心を思い出したと言っていました。

毎日の生活の中で、リスク管理をしながら子ども達を守り、成長をサポートし、保護者支援、地域子育て支援と、日々奮闘する保育士のTO DOリストはいっぱいです。夢を持って働き始め、毎日一生懸命働く内に、夢からかけ離れた自分を自覚する。世の中ではよくある事かもしれませんが、私は皆の姿を見ながら、この保育士達の「初心」を守りたいと強く思いました。それが私の使命のひとつであり、園長としての私の「初心」です。心の余裕を持って、笑顔で子ども達と楽しく活動できる環境。子どもも先生も自分の人生の主役になれる環境。当法人の理念の一つでもある「皆が笑顔で育ち合える」環境を作っていけたらと思います。

東京都民間保育協会では、保育士の皆さんの助けになるような様々な研修や、私のような未熟な園長が学べる研修、保育行政についての勉強会、保育士採用に役立つ保育園フェアや学生の園見学ツアー、養成校との懇談会等、一年を通して保育園に役立つ活動をたくさん行っています。会員園の皆様にはぜひ有効に利用させていただきたいと思います。私の園も昨年、園見学ツアーに参加し、たくさんの学生さんに来園いただきました。直接採用に結びつくものではありませんが、夢を持って保育園を見学する姿は、楽しそうでキラキラし、対応している私たちも嬉しい気持ちになりました。彼らの「初心」も、どこかの保育園で守られていると良いなあと思います。

現在、こども家庭庁では「こどもまんなかアクション」、東京都では「チルドレンファースト」「こども未来アクション2024」が策定され、少子化の進行もあって、こどもを取り巻く環境に世の中の関心が高まっています。そんな今だからこそ、保育園の現状を発信し、更なる配置基準の改善、処遇改善の継続等、皆さんと共に声を上げ続けていければと思います。未熟で微力ですが、保育士の「初心」、園長の「初心」そして保育園の「初心」を大切に守りたいと思う今日この頃です。